

かけはし

『住んで良かった・住み続けたいと思える片江校区』をめざして

片江校区自治協議会
片江5-35-20 片江公民館内
電話・FAX 871-5341

2023年人権カレンダー標語
悲しいな
みんなにうわさ
されるのは
佐藤 ほのか

新春の伝統事業「ほうけんぎょう」実施

1月8日(日)、新春の伝統事業「ほうけんぎょう」が片江小学校で開催されました。

昨年と一昨年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施を見送りましたが、3年ぶりに実行委員会を立ち上げ、安全に開催できるように準備を行い、実施しました。

今回は校区住民のお2人の土地にある竹と阿蘇神社の孟宗竹を使いました。10月に竹切り作業、12月に葉をからして落とす作業※1を行い、孟宗竹は開催の前日に葉を落とし、やぐらの支柱として使用しました。

やぐらへの点火は、1年の家内安全と無病息災を願い卯年生まれの年男・年女計10名が行いました。

※1 炭になった竹の葉が、住宅街に飛散しないようにするため。



大きな音を立て威勢よく燃えるやぐら

組み立て開始!!!

やぐらの組み立ては、朝の8時半から始まります。やぐらを立てる場所に、事前に搬入した真砂土を広げ、その上に鉄板を被せてグラウンドが傷まないように保護します。



支柱となる孟宗竹を3本組み、その中央に垂直に1本、てっぺんに葉を残した竹を立て、その竹を覆うように10月から準備しておいた竹を配置していきます。竹が倒れないようにワイヤーで周りを巻いて完成です。

この、竹と竹の間に校区の皆さんが持参されたお飾りを入れていきます。

今年も環境衛生保健部がお飾りの受け取り作業、防犯部と交通安全部が交通整理と警備のため校門に立ち、体育部は全体補助と、昔あそびなどを手伝いました。

実行委員と消防団を合わせて約100名近い協力のもと、伝統事業を実施することができました。

アンビシャス広場には、羽根突きや独楽回し、消火体験などに多くの親子連れが参加しました。来場者は約400名でした。



点火の様子



お飾りの回収



長尾分団による消火指導

【3月 片江校区の行事予定】

※は要予約。☘は高齢者対象。👨👩👧は未就園児対象。

日	時間	予約・対象	行事	主催	場所
3(金)	10:00~	👨👩👧	にこにこ広場 ◆おひな様	スマイル片江 【社協助成事業】	片江公民館
10(金)	10:00~		歩こう会 ◆いこいの家→西の堤池(1~2周)→片江公民館 ☘城南保健センター職員による体力測定	衛生連合会	片江老人 いこいの家
16(木)	13:30~	☘	さんさんサロン	さん SAN★片江 【社協助成事業】	片江 江陽館
17(金)	10:00~	👨👩👧	ふれあい子どもサロン	神松寺3-1のボランティア 【社協助成事業】	ふれあい会館
24(金)	13:30~	☘	ふれあいサロン	ひまわり片江 【社協助成事業】	片江公民館
毎月 第2・4金曜	10:00~	👨👩👧	子どもサロン四つ葉 ◆10日・24日	片江1~3丁目のボランティア 【社協助成事業】	片江 江陽館

◆お問合せ・お申込み 自治協議会 電話・FAX:871-5341
◆新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予定が変更になる場合があります。

片江校区ほうけんぎょうの始まりって?

昔は、お正月飾りを各家庭の庭や阿蘇神社で燃やし、その火でもちを焼いて、七草に食べていたそうです。

自治協議会の前身である自治連合会だった頃、地域住民(公民館長、体育振興委員など)の方々が中心となり、空き地(現在のくら寿司)でやぐらを組んで始めたのが『第1回のほうけんぎょう』でした。そこで、作業を行ったみんなでぜんざいを作ったところ、告知をしていなかったのに多くの方が来られ、のちに来場者にも振舞う事となりました。

他の校区でも、小学校校庭で開催するようになり、場所を移動し、現在まで続く「ほうけんぎょう事業」となっています。

校区イベント
進捗情報

◆ふれあいネットワーク校区会議◆

2月26日(日)10時から、各町より2~3名(自治会長、民生委員、ボランティア)が参加し、ふれあいネットワークについて考え、学びます。



アンビシャス広場 昔遊びの様子(独楽回し、羽根突き)

